

第129期 中間

SANYO REPORT

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

おかげさまで
110th
SANYO ELECTRIC RAILWAY
Since 1907



山陽電気鉄道株式会社

ごあいさつ



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当上半期のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、海外情勢の不確実性や金融市場の変動の影響などもあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のなか、当社においては沿線の観光資源をPRするなかで、積極的に国内外からの旅客誘致に取り組んだほか、山陽百貨店においては、集客力を向上させるべく新規店舗を導入するなど、グループ全体で一層の収益拡大に努めました。

この結果、当上半期の成績は3ページ以下に記載のとおりとなり、去る11月10日開催の取締役会におきまして、中間配当を1株2.5円で実施することを決定させていただきました。これもひとえに株主の皆さまの日頃のご支援・ご協力の賜と厚くお礼を申し上げる次第でございます。

今後の見通しにつきましては、企業業績に改善の動きがみられるものの、少子高齢化の進行や国内需要の停滞など、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くと思われま

す。このような情勢に対処するため、「各事業の連携強化による企業価値および沿線価値の向上」「新たな需要への積極的な取り組み」「非鉄道事業分野での収益基盤の着実な拡充」「安全・安心の確立とサービス向上に必要な設備投資の実施」を基本戦略とする2018年度までの中期経営計画を定めておりますが、当社グループとしては、各事業の相互連携を通じて、台湾を中心としたインバウンド・アウトバウンドへの取組みをさらに推進し、交流人口の拡大に注力するほか、当社沿線で行われた神戸マラソンなど、スポーツイベントを幅広くサポートすることで、地域の活性化をはかってまいります。

各事業の取組みのうち、鉄道事業におきましては、世界文化遺産・姫路城をはじめする沿線観光地の魅力を積極的に国内外に発信するほか、訪日外国人向けの企画乗車券「HIMEJI TOURIST

PASS」や当社沿線の乗入他社線で利用できる各種企画乗車券の販売強化による収益拡大をはかります。設備面におきましては、6000系車両への更新や5000系車両のリニューアル工事により、省エネと快適性の向上をはかります。また、須磨浦公園駅西方の法面防護工事を推進するとともに、江井ヶ島駅のバリアフリー化工事にも取り組んでまいります。

バス事業では、山陽バスにおいて、路線延長や一部見直しを行うなかで、利便性の向上およびサービス拡充に努めてまいります。

流通業におきましては、ますます激化する姫路商圏のなか、山陽百貨店では、引き続き地域において必要とされる百貨店を目指して、子供服売場等をはじめ、魅力的なテナントを継続的に導入するなど、商品力の強化をはかってまいります。また、定期的に美術催事を開催することで、他店との差別化をはかり、多くのお客さまにご支持いただけるよう、努めてまいります。

不動産業につきましては、分譲事業において、明石市での分譲マンション「ディアエスコート明石西新町」の建設・販売を進めるほか、大阪府泉大津市や阪神地区においても分譲マンション事業を予定しており、事業エリアの拡大をはかりながら収益強化に努めます。賃貸事業におきましては、神戸市垂水区小束山地区の保有土地の有効活用を進めるとともに、新たな収益不動産の取得を通じて、さらなる収益基盤の強化に取り組んでまいります。

レジャー・サービス業およびその他の事業では、舞子ホテルにおいて、旬の素材を活かしたイタリアンだけでなく、大正ロマン漂う館内の紹介やブライダル情報をSNS等のツールも活用しながら積極的に発信し、より多くのお客さまにご利用いただけるよう努めてまいります。

当社グループは、安全・安心を絶対条件とする交通事業者に課せられた社会的使命を果たしていくとともに、今後さまざまな分野で積極果敢に挑戦し、さらなる山陽電鉄グループの発展に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

代表取締役社長 **上門 一裕**

トピックス

運輸業

鉄道事業におきましては、本年7月に創立110周年を迎えたことを記念し、「山陽電車創立110周年記念号」の運行をはじめとする各種企画を実施しました。また、ICカード乗車券「ICOCA」等を新たに販売し、お客さまの利便性向上に努めました。このほか、海外からのお客さま誘致のため、引き続き近隣諸国において当社沿線の魅力をPRするとともに、企画乗車券「HIMEJI TOURIST PASS」の販売を強化したほか、「Meet Colors!台湾」号の運行等を通して、日本と台湾との観光面における相互交流の活性化にも注力しました。設備面では、踏切支障報知装置等と自動列車停止装置の連動化工事を進めるなかで、踏切道における安全性を向上させたほか、6000系車両への更新を継続することで、省エネと快適な車内環境作りを推進しました。

運輸業全体の営業収益につきましては、前年同期に比し1.1%増の9,763百万円となりました。



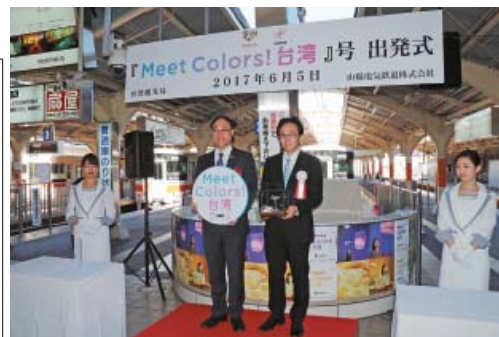
山陽電車創立110周年記念号



110周年記念ポスター



乗車券相互交流ポスター



「Meet Colors!台湾」号 出発式

流通業

流通業におきましては、姫路商圈の競争激化が進むなか、山陽百貨店2階フロアにおいて、お客さまが買い回りしやすい店舗作りに取り組みとともに、地階食料品売場において、新規顧客を掘り起こすべく、地元で人気のパンの店「プロムナード」を導入しました。美術催事では、平成の大仏師のひとり「向吉悠睦の世界展」を初開催したほか、日本で最も歴史のある洋画商である日動画廊の厳選する国内外の秀逸な作品を取り揃えた「日動画廊 洋画名品展」を開催し、大きな成果をあげることができました。また、6階フロアにおいて旅行代理店を誘致するなど、サービス強化に取り組みました。

流通業全体の営業収益につきましては、前年同期に比し0.4%増の10,078百万円となりました。



靴売場を集約した2階フロア



プロムナード



「向吉悠睦の世界展」

トピックス

不動産業

不動産業のうち分譲事業におきましては、明石市で分譲マンション「ディアエスコート明石西新町」の建設・販売を推進したほか、姫路市の分譲マンション「エスコート姫路 ザ・レジデンス」および明石市の分譲戸建「エステラス西二見」の販売に引き続き注力しました。賃貸事業では、神戸市垂水区小束山地区でファミリー向け賃貸住宅「エス・キュートウィズ 小束台」を建設するとともに、同地区の保有土地の有効活用を進めるなかで、安定的な収益基盤の拡充に努めました。

不動産業全体の営業収益につきましては、分譲規模の差により、前年同期に比し24.4%増の2,008百万円となりました。



エス・キュートウィズ 小束台

レジャー・サービス業



須磨浦ロープウェイ



須磨浦ロープウェイ
開業60周年記念ロゴ

レジャー・サービス業におきましては、海・山・神戸の街を見渡すことができる須磨浦山上遊園において、須磨浦ロープウェイ開業60周年企画のほか、桜の開花時期やゴールデンウィークにさまざまなイベントを開催し、行楽客誘致に取り組みました。

レジャー・サービス業全体の営業収益につきましては、前年同期に比し7.2%減の1,088百万円となりました。

その他の事業

一般労働者派遣業、設備の整備業などその他の事業におきましては、外部顧客の獲得に努めましたが、営業収益は前年同期に比し2.4%減の605百万円となりました。

以上により、当中間期の営業収益は23,544百万円（前年同期比1.9%増）、経常利益は2,142百万円（前年同期比5.9%減）となりました。この結果、中間期の親会社株主に帰属する純利益につきましては、1,479百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	営業収益 (百万円)	構成比 (%)
運 輸 業	9,763	41.5
流 通 業	10,078	42.8
不 動 産 業	2,008	8.5
レジャー・サービス業	1,088	4.6
そ の 他 の 事 業	605	2.6
合 計	23,544	100.0

中間連結決算の概要(要旨)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結貸借対照表

(平成29年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	13,244	流動負債	19,272
固定資産	78,066	固定負債	33,777
		負債合計	53,049
		(純資産の部)	
		株主資本	34,756
		その他の包括利益累計額	2,663
		非支配株主持分	841
		純資産合計	38,261
資産合計	91,311	負債純資産合計	91,311

四半期連結損益計算書

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

科 目	金 額
	百万円
営業収益	23,544
営業費	21,431
営業利益	2,112
営業外収益	228
営業外費用	199
経常利益	2,142
特別利益	32
特別損失	16
税金等調整前四半期純利益	2,158
四半期純利益	1,491
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,479

連結業績等の推移

区 分	第126期 平成26年度	第127期 平成27年度	第128期 平成28年度	第129期中 平成29年度中間
営業収益(百万円)	48,159	48,316	47,938	23,544
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益(百万円)	1,928	1,849	2,115	1,479
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	17.35	16.64	95.17 ^(注1)	66.57 ^(注1)
1株当たり配当金(円)	5.0	5.0	5.0	2.5 ^(注2)
総 資 産(百万円)	112,345	108,589	94,924	91,311

(注1) 平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。

(注2) 1株当たり配当額については、基準日が平成29年9月30日であるため、株式併合前の金額を記載しております。

グループの概要

(平成29年9月30日現在)

主要な事業内容

事業の種類別セグメント	主要な事業内容
運 輸 業	鉄道事業、バス事業、タクシー業
流 通 業	百貨店業、売店業、コンビニエンスストア業
不 動 産 業	不動産賃貸事業、不動産分譲事業
レジャー・サービス業	索道事業、遊園事業、飲食業他
その他の事業	一般労働者派遣業、設備の保守・整備・工事業、ビル管理・営業管理業他

連結対象会社

連結子会社17社

- (株)山陽百貨店
- (株)山商(株)
- 山陽バス(株)
- (株)山陽アド
- (株)山陽フレンズ
- (株)日本ワークシステム
- 大阪山陽タクシー(株)
- 山陽タクシー(株)
- (株)舞子ホテル
- 山電サービス(株)
- 山電不動産(株)
- 須磨浦遊園(株)
- (株)山電情報センター
- (株)山陽エージェンシー
- (株)山陽友の会
- 山陽アメニティサービス(株)
- 山陽デリバリーサービス(株)

持分法適用関連会社1社

- 姫路再開発ビル(株)

会社の概要

(平成29年9月30日現在)

- 創 立 明治40年7月2日(前身の兵庫電気軌道(株))
- 設 立 昭和8年6月6日
- 資 本 金 10,090,290,158円
- 発行済株式の総数 111,652,992株
- 株 主 数 8,194名
- 本 社 神戸市長田区御屋敷通3丁目1番1号
- 事 業 内 容
 - (1)鉄道事業
 - (2)付帯事業(索道事業、遊園事業、土地建物事業)
- 従 業 員 数 連結 1,970名 単体 721名
- T E L 078-612-2032

役員状況

(平成29年9月30日現在)

- | | | | |
|------------|---------|-----------|---------|
| 代表取締役社長 | 上 門 一 裕 | 取締役 | 森 本 一 弘 |
| 代表取締役専務取締役 | 木 村 俊 紀 | 取締役 | 米 田 真 一 |
| 専務取締役 | 中 野 隆 | 取締役 | 金 谷 明 彦 |
| 常務取締役 | 吉 田 育 朗 | 常任監査役(常勤) | 守 屋 治 |
| 常務取締役 | 荒 木 素 直 | 監 査 役(常勤) | 大 野 峰 雄 |
| 取締役 | 藤 原 崇 起 | 監 査 役 | 藪 本 信 裕 |
| 取締役 | 長 尾 真 | 監 査 役 | 中 森 朝 明 |

株式についてのご案内

株主優待のご案内

株主優待券 所有株式数	電車乗車券	電車・山陽バス 共通乗車証	グループ・沿線施設 株主優待券
100株～199株	2枚	—	1冊
200株～599株	4枚		
600株～999株	8枚		
1,000株～1,999株	12枚		
2,000株～2,999株	24枚		
3,000株～3,999株	48枚		
4,000株～4,599株	60枚	1枚	
4,600株～39,999株	4枚		2枚
40,000株～99,999株			3枚
100,000株～199,999株			5枚
200,000株以上			

- ①) 電車乗車券、電車・山陽バス共通乗車証の通用区間
電車乗車券は、西代駅以西の全線で、また、電車・山陽バス共通乗車証は、電車は西代駅以西の全線で、山陽バスは以下の路線を除く全線でご使用いただけます。
・明石市コミュニティバス路線・高速バス路線(有料道路路線を含む)
- 2) 電車・山陽バス共通乗車証の名義
券面に「持参人ご1名」と表示しておりますので、株主さまご本人以外の方でもご使用いただけます。
- 3) 株主優待の有効期間
3月31日現在の株主さまに贈呈する分は、6月1日から11月30日まで。
9月30日現在の株主さまに贈呈する分は、12月1日から5月31日まで。

グループ・沿線施設株主優待券の冊子には、当社グループ諸施設や当社沿線の観光施設などをご利用いただける優待券をお付けしております。

株主メモ

- 定時株主総会 毎年6月開催(基準日は毎年3月31日)
- 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 公告方法 電子公告(但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、神戸市において発行する神戸新聞に掲載)
- 電子公告掲載のホームページアドレス <http://www.sanyo-railway.co.jp/company/koukoku.html>
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031

※特別口座とは?

平成21年1月5日より実施された「株券電子化」に際して、証券会社を通じて証券保管振替機構(ほふり)にお預けでない株式に関する株主さまの権利を保全するために開設された口座をいいます。

なお、特別口座に記録された株式に関しましては、**配当金や株主優待をお受取りいただくことはできませんが、証券市場においてご所有株式を売却できません**ので、ご本人名義の証券会社等の口座への振替えをご検討くださいますよう、お願い申し上げます。詳細なお手続に関しましては、10ページをご参照のうえお問い合わせください。

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の株主さまへ

ご所有株式のうち、単元未満株式につきましては、次のいずれかを利用して整理していただくことができます。

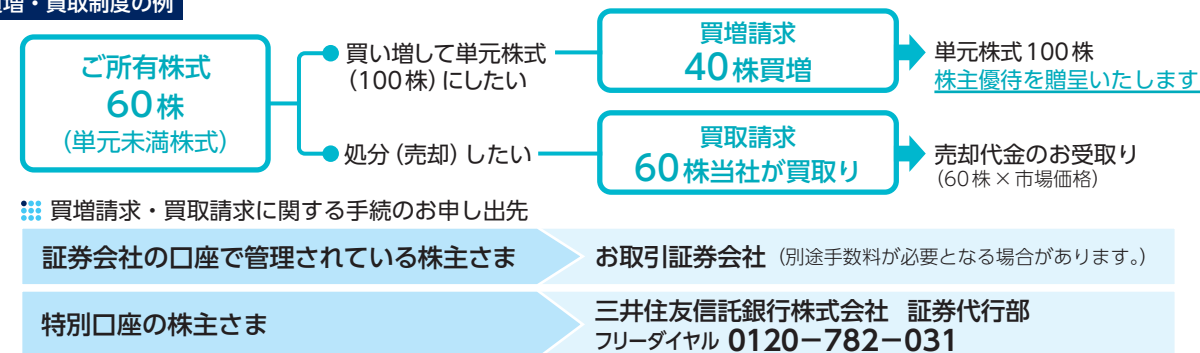
単元未満株式の買増制度

当社に対して、単元株式(100株)に不足する株式数の市場価格による売り渡しを請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて、100株にすることができます。

単元未満株式の買取制度

当社に対して、ご所有の単元未満株式の市場価格による買取りを請求することができます。

買増・買取制度の例



単元株式数の変更および株式併合について

- 株式併合による影響
- 1株未満の端数が生じる場合の処理

【お問い合わせ先】

当社は、平成29年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに同年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主さまの所有株式数を基準に、5株につき1株の割合をもって併合いたしました。

なお、この単元株式数の変更および株式併合に伴う株主さまによる特段のお手続はございません。株式併合により、株主さまがご所有の当社株式数は併合前の5分の1となりましたが、逆に1株当たりの純資産額は5倍となり、株式市況の動向など他の要因を除けば、株主さまが所有する当社株式の資産価値が変わることはございません。株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、すべての端数を当社が自己株式として買取り、その代金を端数が生じた株主の皆さまに対して、端数の割合に応じて、今回の中間配当金と合算してお支払いいたします。

単元株式数の変更および株式併合に関してご不明な点がございましたら、お取引のある証券会社または株主名簿管理人にお問い合わせください。
「株主名簿管理人」三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031

未受領配当金の支払のお手続

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社へお申し出ください。

マイナンバーに関するご案内

株式の税務関係の手続(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)のため、株主さまからマイナンバーをお届出いただく必要があります。お届出につきましては、お取引のある証券会社などへお問い合わせください。



山陽電気鉄道株式会社

〒653-0843 神戸市長田区御屋敷通3丁目1番1号
<http://www.sanyo-railway.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



ミックス
責任ある水産資源を
使用した紙

FSC® C011373